



芥川龍之介の『浮城物語』
 芥川龍之介の『浮城物語』は、戦国時代の歴史小説である。物語は、戦国時代の歴史小説である。物語は、戦国時代の歴史小説である。物語は、戦国時代の歴史小説である。物語は、戦国時代の歴史小説である。



素女回春



常盤津兼太夫
 常盤津兼太夫は、歌舞伎の女優である。彼女は、歌舞伎の女優である。彼女は、歌舞伎の女優である。彼女は、歌舞伎の女優である。

竹打盆
 竹打盆は、盆踊りの一種である。盆踊りは、盆の日に盆の火を焚くという習俗から由来する。盆踊りは、盆の日に盆の火を焚くという習俗から由来する。盆踊りは、盆の日に盆の火を焚くという習俗から由来する。



十八年の大決闘
 十八年の大決闘は、ある物語の重要なシーンである。十八年の大決闘は、ある物語の重要なシーンである。十八年の大決闘は、ある物語の重要なシーンである。

芥川龍之介の『浮城物語』
 芥川龍之介の『浮城物語』は、戦国時代の歴史小説である。物語は、戦国時代の歴史小説である。物語は、戦国時代の歴史小説である。

Handwritten signature or note in the right margin, possibly '浮城物語'.